

東大野球部メールマガジン Vol.214

ごあいさつ

暖かな春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、春季リーグ戦開幕カードの対法政大学戦、先週末の対早稲田大学戦ともに勝利を挙げることはできませんでしたが、次回以降一戦必勝の気持ちで練習に励んでおります。

今後とも東大野球部をよろしく願いたします。

今後の日程

〈2019年度 春季リーグ戦〉@明治神宮野球場

4月27日 法大 10:30 慶大 早大 13:00 明大
4月28日 明大 10:30 早大 慶大 13:00 法大
5月4日 法大 11:00 立大 慶大 13:30 東大
5月5日 東大 11:00 慶大 立大 13:30 法大

〈2019年度 フレッシュリーグ〉@明治神宮野球場

5月4日 法大 7:50 立大
5月5日 東大 7:50 慶大

今回の特集 「春の注目選手」

今回の特集は、「春の注目選手」です。春季リーグ戦で応援すべき注目選手を学生コーチ陣に語ってもらいました。

樫村 知之 (4年・学生コーチ・市川)

今季は、冬を越え身体・技術ともに成長した2、3年生が多数ベンチ入りし、新しい顔ぶれが並んでいます。しかし一方で、長い下積みを経てこの春初めてベンチ入りを勝ち取った4年生がいます。投手の坂口友洋(4年・日比谷)です。彼は1年次、才能ある

同期たちの陰で燦り一時は内野手へのコンバートも経験しましたが、それでも志を曲げず再び投手へと復帰して営々と努力を重ね、この春ついにリーグ戦出場を果たしました。先日の早大2回戦で3回0失点の好投を見せた坂口のさらなる躍動に、是非ご注目ください。



(上)樫村学生コーチ、(下)坂口投手

木野 友博 (4年・学生コーチ・日比谷)

今季 No. 1 の注目選手こそ我らが日比谷高校出身、坂口友洋であります。かつては後輩、今は同輩の彼は高校時代よりその才覚を現しておりましたが、怪我に泣き一度は野手へと転身いたしました。しかし苦節 6 年、彼は不屈の闘志で再び第一線のマウンドへと返り咲いたのであります。要所要所の制球力、多彩な変化球、そして一段と増した球威。その不断の努力の賜物を武器に強打者達に立ち向かう彼の背中に、大きな声援をお送りいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



(左)坂口投手、(右)木野学生コーチ

高野 啓斗 (4年・学生コーチ・国立)

僕が注目するのは早川(3年・内野手・菊里)です。高い身体能力を武器に内野陣の中で頭角を現し、今春見事に開幕スタメンを勝ち取り初ヒットも記録しました。彼は二浪していて多くの4年生と同年であり、どこか達観していてバックスクリーンの顔写真のようにナメたところもありますが、実際には藤井啓文(4年・内野手・時習館)以外にはちゃんと敬語を使い、薬学部に通う頭の良さも兼ね備えるしっかり者です。今シーズンは彼の武器である俊足と広い守備範囲にご注目ください。



(上)高野学生コーチ、(下)早川内野手

辻村 真樹 (4年・学生コーチ・県立千葉)

春の注目選手は大音(2年・捕手・湘南)です。走攻守で能力が高く、今春から扇の要の座を掴みました。練習にも、他大学の打者の分析にも非常に真面目に取り組んでいる姿が印象的です。また、2年生ながら自分の意見を全体の前で発信したり、バッテリー一陣をまとめたりと、すでにチームの中心選手の1人となっております。特に下級生はリーグ戦で大き

く成長します。毎試合成長しながら、「旋風」の中心でプレーする大音にぜひご注目ください。



(上)辻村学生コーチ、(下)大音捕手

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「実力を発揮するための秘訣」と題して、実力を発揮するために努力していることについて語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。